

DEAR MOSS, WHAT ARE YOU?



コケ植物は地球上最も古い植物の一種である。科学者は4億年前から存在していたと信じている。世界中のいろんな所で見ることができる。氷河と一緒に何世紀にもわたり存在してきた南極でも発見されている。

成長しながら、コケは美しい緑のカーペットを形成し、常に互いに近くに成長する。それは生き残るためでコケの力である。支えてくれる根と丈夫な茎がないので、コケは互いに助け合う。高さは通常非常に小さく、わずかに数センチメートルである。

皆さんはきっとコケを見たことがあると思う。本当にとってもフレンドリーである。木の樹皮や石の上、レンガの壁、歩道や道に生える。

コケについてもっと学んだとき、それが美しい植物だけでなく、他の小さな生物（微生物や昆虫）にとっても居心地のいい家であることに非常に驚いた。ある鳥はコケに頼り、その中に卵を産み、卵からかえっていない雛は安全で暖かい場所にいるわけである。そして、たとえば、鹿のような大きな動物は、血液の循環を助け、暖かくなるのに役立つコケを食べている。

コケから利益を得るのは動物だけではない。我々人間も、それに非常に感謝する理由がある。それは、コケが汚染された空気を吸い込み浄化してくれるからである。コケは汚染を感じると、色が変わる。経験豊富な科学者はこれを見たら、環境に悪いことについて警告できる。昔、人間は寒い日に足を暖かくするために乾燥したミズゴケを靴に入れていたと言われる。

本日、一緒にコケを探していただき、コケを見ながら、その美しさを楽しんでいただこうと思う。今回、コケの外見を見ていただき、中之世ビエンナーレ中、私のビデオインスタレーションを楽しんでいただこう。それは、苔類のミズゴケ植物の内部がどのように見えるかを教えてくれる。

私は200年以上前に書いた植物についての絵本を見たことがある。その昔は、人々はしばしばノートや鉛筆を持って自然の中を散歩し、見た植物をすべて描いておいたと思われる。顕微鏡

が発明された後、植物の内部がどのように見えるのか観察することが可能になった。それで、コケは、水分や有益な物質を土から飲み込むごく小さな細胞できていると分かった。

成長しながら、コケはカリプトラ(Calyptra)という帽子のように見える小さなカプセルを形成する。それは小さなヘルメットとして植物を守り、完全に成長できるように必要な水を貯蔵する。植物が繁殖する準備ができたら、この帽子の先端が風に飛ばされ、胞子が植物の内部から放出される。風のおかげで、コケの周りに散在され、時には遠くまで飛ばされる小さなボールを想像してください。この小さな胞子は、森林や山々、畑や平野、川や海など、私たちの周りを旅する新しい若いコケを形成する。

Author: Elitsa Ganeva

Translation: Militsa G. Mineva

